

民生課
学校教育課
健康保険課

新型コロナウイルス禍での生活支援は

町の交付金を活用し町独自の施策を実施



向田 清一 議員

生活支援の町独自の施策は何か。

町長 保健所の対応は、自宅療養者に食品や衛生用品の入った自宅療養セットを希望者に配布している。保育園などについては、国からの通達により園児が休園した場合保育料や副食費を減免している。

議員 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金は十分いき渡っているか。

町長 一世帯当たり10万円を給付するもので、令和4年度における対象は148世帯で92%が申請している。

議員 社会的弱者に対し減免をした場合の試算金額は。

議員 基本料金を減免したら試算金額が軽減されるが、実施することができないか。

民生課長 現時点では今以上の減免は考えていない。

坂町の減免実態は。

町長 生活保護世帯を対象に下水道使用料基本料金の減免を実施している。



柚木 喬 議員

町長 生活保護52世帯、障害者465世帯、寝たきり老人84世帯、ひとり親97世帯で合計698世帯であり、一世帯当たり月額減免額1689円とすれば年間約1420万円が必要となる。



水道料金の減免は

議員 近隣他町は以前から実施済みで対応が遅いのは。

町長 他町においては、都市計画税を財源に充当できるなど、おかれている環境により対応が違う。

議員 子育て世帯生活支援給付金支給内容は。

町長 低所得のひとり親家庭や子育て世帯の高校生相当以下の子に、一人当たり5万円を給付するもので、ひとり親が92世帯、非課税32世帯、家計急変19世帯。

議員 町で把握している子育ての世帯が申請している。



生活支援の相談窓口

議員 新型コロナウイルス患者に対する支援策は。

町長 国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、町独自の施策として、高校生以下の子一人当たり1万円を給付している。また、小中学校・保育園などの給食にかかる費用の一部を補助する事業を実施している。

産業建設課

県道坂小屋浦線の現状は

町早期完成・供用を先決と考え事業を進める



瀧野 純敏 議員

高架橋の完成時期は。

町長 現在、平成ケ浜側の高架橋下部の工事に着手しており、森浜側の下部工事も順次発注していく予定と県から伺っている。

「広島県道路整備計画2021」においては「継続」路線と位置付けられており、完成時期は明示されていないが少しでも早く完成・供用できるように県と協力して事業の促進に努めていく。

議員 総頭川渡河部分の完成時期は。

町長 県とともに渡河部分付近の用地取得に向けて交渉している。令和7年度末の完成を目指すと県から伺っている。

議員 付帯道路はどうなるのか。

町長 地域内道路のネットワーク化を図るため、坂東環状線や坂西環状線、また地域内に位置する浜田中洲線、久保田川線など県道に接続する生活道路もアクセス向上のため併せて整備している。



完成が待たれる総頭川の渡河部分

産業建設課
環境防災課

雨水排水路の清掃活動は

町地域住民のできる箇所は協力を



中 雅洋 議員

横浜東地区では、年1回雨水排水路清掃を行っているがなぜ。

町長 雨水排水路の清掃は、各地区住民協にお願しい年一回程度清掃活動を行っている。行政の「公助」のみならず「自助・共助」のもと、地域で支え合い、活動いただき皆様に対し感謝している。

議員 地区住民協行事の一つとして行っているが、参加者が高齢化のため、行政で行っては。

町長 地区住民の地域清掃活動では、地域住民のできる箇所においてはご協力いただき、重機などが必要な箇所の清掃には業者依頼し対応していきたく考えている。

議員 排水路清掃は、「実施する必要がない」と町から意思表示できないのか。

町長 近年清掃活動など地域の奉仕活動では、高齢者の方々の負担になっている現状があるため、若者の奉仕活動への参加を促すことや、町の事業として行うことなど財源も含め議論を深めていく必要があると考えている。



清掃が困難なでかいグレーチング

民生課

社会的弱者に水道料金などの減免を

町現時点では今以上の減免は考えていない

議員 現時点では今以上の減免は考えていない。